

第3回次世代へ光り輝く「教育立県ちば」を実現する有識者会議の開催について

令和元年8月1日
企画管理部教育政策課

第3回「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』を実現する有識者会議」を令和元年7月22日（月）午後5時からホテルポートプラザちばで開催しました。

第3回の会議では、「家庭と地域の絆を深め、全ての人が活躍できる環境の整備」、「『誇り』と『安心』を育む学校の構築」をテーマに御意見をいただきました。

1 日時 令和元年7月22日（月）午後5時から午後7時30分まで

2 場所 ホテルポートプラザちば 2階「ロイヤル」

3 内容

- (1) 家庭と地域の絆を深め、全ての人が活躍できる環境の整備
- (2) 「誇り」と「安心」を育む学校の構築

4 出席委員等

(1) 委員

天笠茂委員、久留島浩委員、最勝寺奈苗委員、貞廣斎子座長、銭谷眞美委員、中山理副座長、福中儀明委員、渡部茂樹委員

(2) 特別委員

宮本みち子特別委員、友添秀則特別委員、百瀬明宏特別委員

5 委員の主な意見

(1) 家庭と地域の絆を深め、全ての人が活躍できる環境の整備

【宮本みち子特別委員】

- 子供たちの情報は学校で把握することが一番有効だが、学校が地域の関係諸機関との連携の中に自主的に入ることが非常に難しい状況にある。
- 学校の先生方も非常に忙しい中ではあるが、学校には地域連携のプラットフォームになっていただきたい。

(2) 「誇り」と「安心」を育む学校の構築

【友添秀則特別委員】

- 総人口の減少、少子高齢化が進行する中、衰退する地域も出てきている。これを放置すると、学校や地域で子供のスポーツニーズに対応できない状況になる。
- 中高生のスポーツ権が保障できなくなり、同時に教育問題の複雑化で教員が疲弊している。新しい学校スポーツや地域スポーツの在り方を検討する必要がある。

【百瀬明宏特別委員】

- 教師を志望する学生の多くは中学校で大きな影響を受けており、高校選びが教師への第一歩である。高校の教員基礎コースを増やしてもいいのではないか。
- 教師養成塾について、東京都は大学4年生を対象に、年間を通して行っている。本県では土曜日の午後に3回だけの実施である。もう少し拡充してはどうか。